

YAMAHA

高性能と快適性を兼ね備えたハイテックな
ニューパフォーマンス・クルーザー
ヤマハスポーツ『FZX750』
について

昭和61年4月

ヤマハ発動機株式会社

本社広報室 ● 〒438 静岡県磐田市新貝2500 TEL.053831-1111 / 東京広報室 ● 〒104 東京都中央区銀座 TEL.03-5561-1111

当社では、新しいスポーツバイクのジャンルの開拓を目指し、ロード・クルーザーとしての快適性を備えたニューパフォーマンスモデル・ヤマハスポーツ『FZX750』を5月1日より新発売いたします。

このモデルは、カナダ向けの「FZX750」、USA向けの「FZX700」と基本コンポーネントをひとつにするもので、高出力でレスポンスがシャープな5バルブ・DOHC・4気筒・水冷エンジンと、低重心で前後重量配分にすぐれた新しい車体レイアウトの組み合わせにより“ジェネシス(GENESIS)”設計思想に沿ったパワフルで扱いやすいハイパフォーマンスを実現しています。

とくに中速域を中心とするビッグパワーは強烈なアクセレーションをもたらし、発進加速(0→200m)は750ccクラス最高のポテンシャルを備えていますが、一方、乗りやすく、疲れにくいライディングポジションの設定により、ハイパフォーマンスをコントローラブルに操れるのが『FZX750』の走りの機能の大きな特長で、高速走行からワインディングロードまで、オールマイティの走りが気楽に楽しめるという特性を備えています。

デザインはマッチョ(力強さ)と洗練された造形美を調和させることで、スーパースポーツやアメリカンとは異なるハイテック感覚を表現しました。

記

名 称：ヤマハスポーツ「FZX750」

発 売 日：昭和61年5月1日

標準現金価格：745,000円

(北海道、沖縄価格は7,000円高)

カラーリング：オリオンシルバー

販 売 計 画：2,000台(年間、国内)

開発の狙い

今日のスポーツモデルの主流は、いわゆるレーシースポーツといわれるジャンルですが、その先鋭化したモデルに人気が高まる一方で、普通に乗れて気軽に走りが楽しめるモーターサイクルの世界を求めるユーザーも少なくありません。

とくに経験が豊富なユーザーの多い750ccクラスについては、既存のジャンルにとらわれない新しいコンセプトを持ったモーターサイクルへの期待が強まっています。

『FZX750』は“ジェネシス=GENESIS”コンセプトに沿ってマン・マシンの一体感が生み出す扱いやすい高性能を追求しながらも、自由でカジュアルな雰囲気とダイナミックな力強さを盛り込むことにより、モーターサイクルの新しい分野を切り開こうとしたものです。

■ニューモデルのコンセプト

- ①自由度の高い、快適なライディングポジション
- ②レーシーモデルに迫る性能ポテンシャル
- ③ダイナミックな「力の流れ」とシェイプアップした体をイメージするスタイリング

■開発のポイント

設計にあたっては、キーワードを“ライトフィーリング”と定め、次ぎの狙いに重点を置いたつくり込みを行ないました。

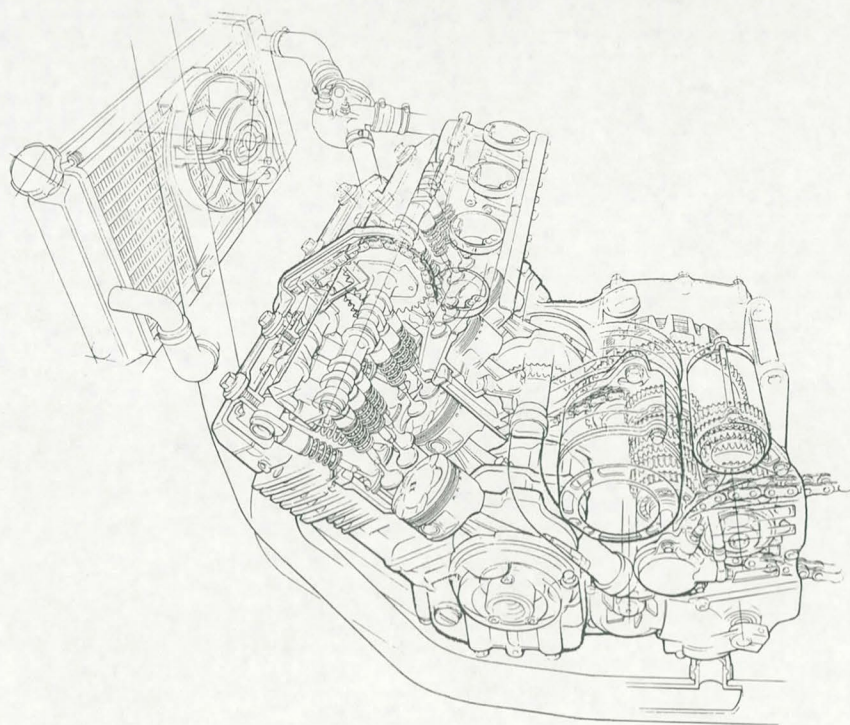
1. エンジンの性格は、常用域での力強い加速感、トルク感を味わえるよう、中速のパワーを重視してアレンジしました。
2. ハンドリングについては、高速安定性と500ccクラスなみの軽快性の両立を図りました。
3. 快適性を重視し、低振動、低シート高、そしてさまざまな走りにフィットするライディングポジションを設定しました。

主な特長

1. 中低速域重視の扱いやすくパワフルなエンジン

エンジンは「FZ750」のDOHC・5バルブエンジンをベースに、吸排気系を中心に変更を加え、中低速域のパワーとトルク感を重視したセッティングにしました。

4連ダウンドラフト・キャブレターを装備し、吸気効率の高い前傾45°シリンダーを持つ、このベースエンジンの高出力、太いトルク、圧倒的なパワーフィーリングを生かしながら、キャブレターのセッティングやカムプロフィールの変更、バルブ作動角の変更などにより、中低速域での混合気の充填効率を高め、力強い加速感を生み出しています。



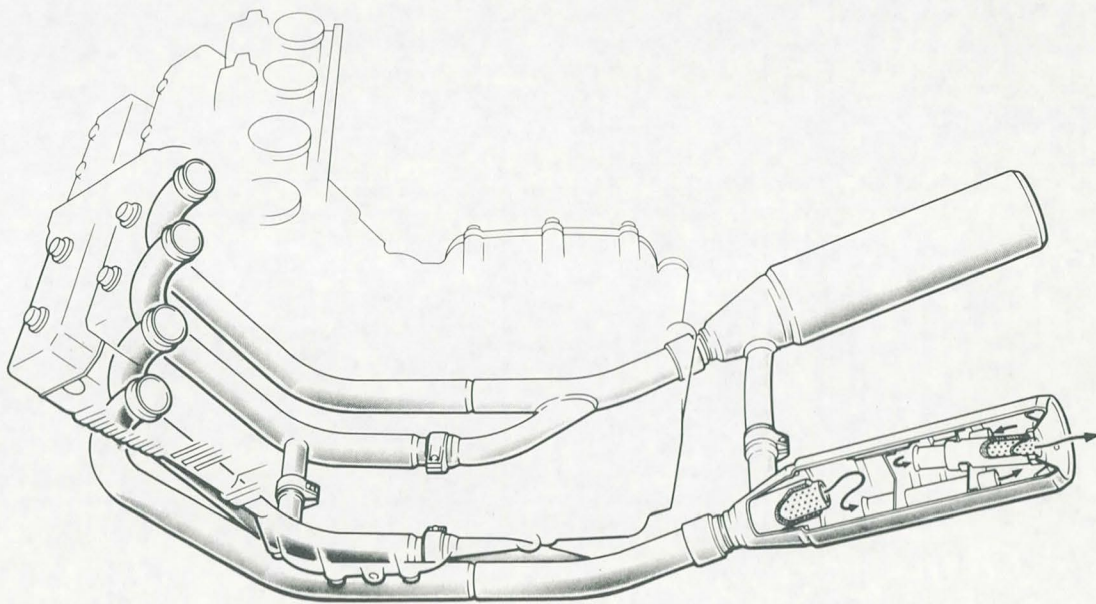
2. エンジンの外観デザインを一新

ニューパフォーマンス・クルーザーを象徴する新しいスタイリングを創造するため、エンジンについてもヘッドカバー、クランクケースカバーの形状を変更、またシリンダーヘッドのフィンを増して、力強いZラインの形成に一役買っています。

3. 中低速トルクを増す4 into 2 エキゾーストシステム

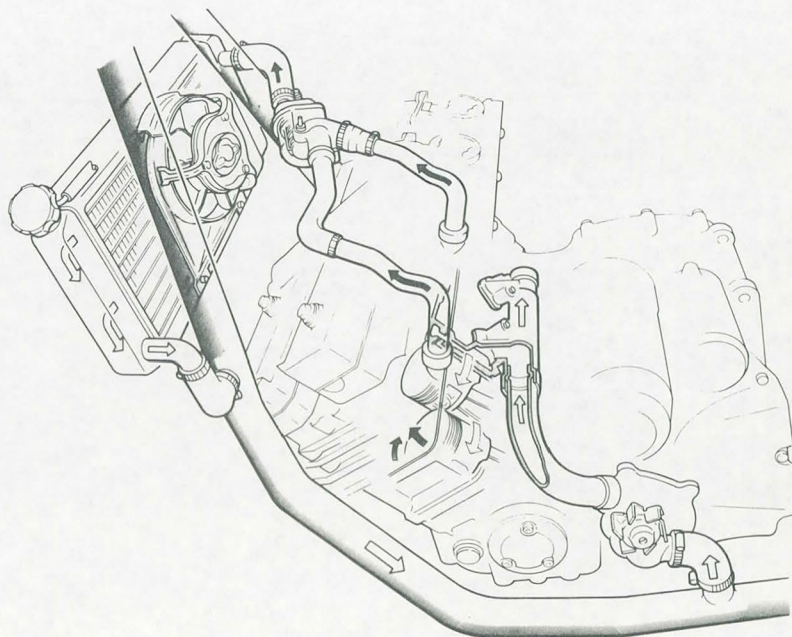
大容量エアクリーナーの採用や、排気干渉をおさえるためのエキゾーストパイプの結合等により、トルクレンジの拡大に成功しています。

エキゾーストパイプは、図のように最初に2番と3番を結合させ、そして1番と2番、3番と4番を集合させた上で、もう一度結合させる構造となっています。



4. 冷却水通路を兼用のダウンチューブ

冷却システムには、クロスフロータイプのアルミ製ダブルコアラジエターを採用していますが、フレームの左側ダウンチューブを冷却水の通路に兼用して冷却効率を高めることにより、比較的幅の狭いラジエターを採用でき、軽量化に役立っています。



5. 前部1リジット・後部2ラバーのエンジンマウント

エンジンの支持方式は、前部を1ヵ所でリジットマウント、後部を2ヵ所でラバーマウントとし、バイブレーションをおさえると同時に、車体剛性を高めています。

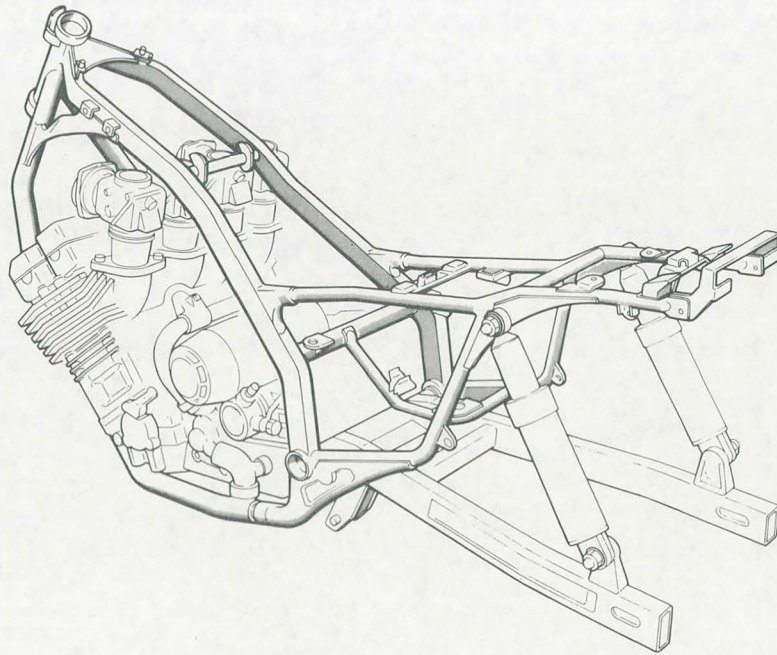
6. ニュースタイルを創り出した角型パイプのクレードルフレーム

フレームは、丸型と角型のパイプを組合わせ、しかも2本の角型タンクレールが、それぞれキャブレターの間を横切るというユニークなデザインで、ワイドフレームとは対照的な構成となっていますが、構造解折をはじめとする各種のテストにより、確

かな剛性とすぐれた操安性が実証されています。

また、ダウンチューブは右側を脱着式として、整備性を高めています。

ヘッドパイプ付近にはエキスパンドメタルのフレームカバーを設け、スタイリング上のアクセントにしています。



7. 低重心化を促進するセンター・フュエルタンク

フュエルタンクを通常より下方後方に置いて、重量マスの集中化と低重心化を図り、ジェネシス思想の具現に寄与させています。

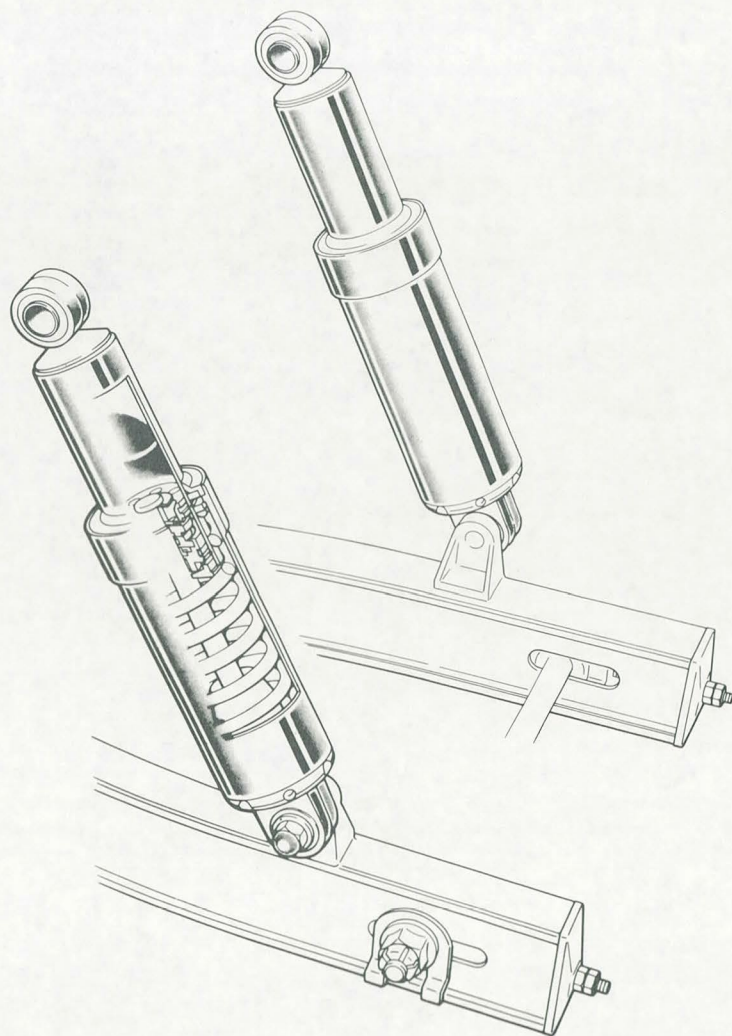
代って、大容量のエアクリナーをトップカバー内に収納し、トップカバー上部のコントロールボックスには各種パイロットランプと水温計を見やすく装備しました。

8. ニューパフォーマンス・クルーザーを特長づける前後サスペンション

フロントサスペンションには、センターアクスルタイプのアエア併用式テレスコピックを、リヤサスペンションには新開発のテレスコピックを採用、機能、外観の両面

でニューパフォーマンス・クルーザーを一層特長づけています。

スプリングをアルミ製のカバーでおおった、このリヤサスペンションは、窒素ガスの加圧式ダンパーを装備し、すぐれた路面追随性を発揮しますが、とくに微少のストロークにも応答性よく減衰力が発生します。

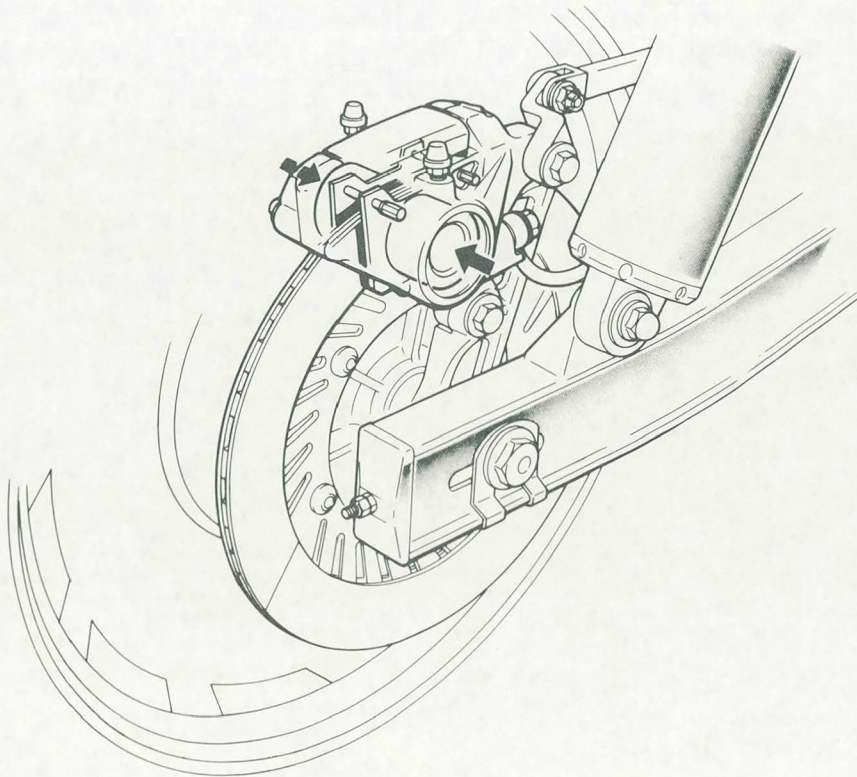


9. 独創的なディッシュタイプのキャストホイール

ホイールは、前後ともにハイテック・イメージの強いディッシュタイプを採用。フロントは16インチ、リヤは15インチで、グリップ性にすぐれた小径・ロープロファイルのHレンジタイヤを装着しています。

10. 対向ピストンキャリパー装備のトリプルディスクブレーキ

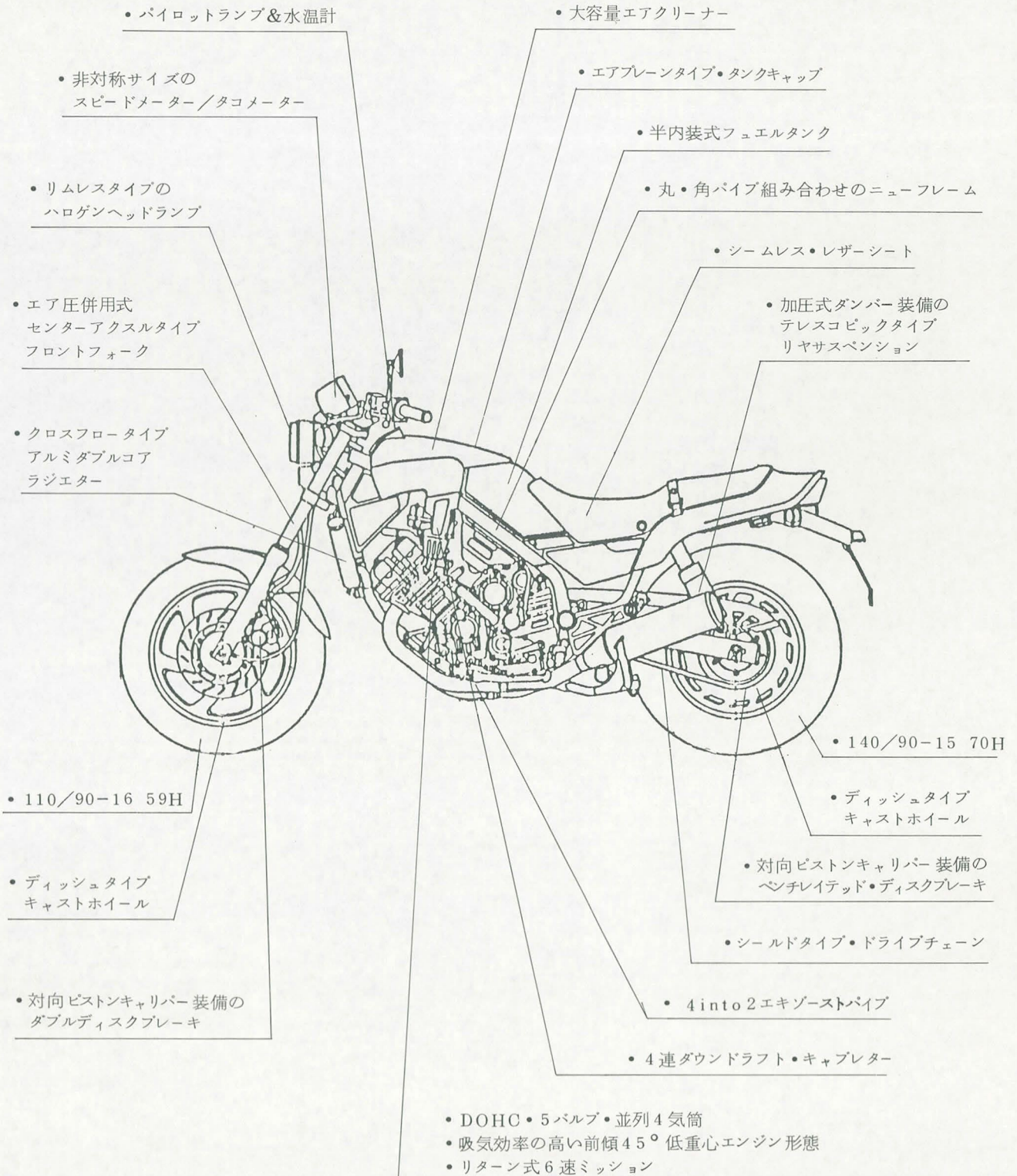
フロントにスロットテッド・ダブルディスクブレーキ、リヤにベンチレイテッド・ディスクブレーキを採用。いずれも対向ピストンキャリパーを装備しています。



11. その他の特長

- バキューム成形のシームレス・レザーシート
- ロングライフのシールドタイプ・ドライブチェーン
- エアプレーンタイプ・フェルタンクキャップ
- シャープなりムレス・タイプのスクエア・ヘッドランプ
- アン・シンメトリカルのメーター配置

ヤマハ「FZX750」フィーチャーマップ



ヤマハ「F Z X 750」仕様諸元表

名 称		F Z X 750				1 次減速機構		ギ ャ		
寸法及重量	全 長	2 2 3 0 mm		動力伝達装置		同上減速比		91/48	1.895	
	全 幅	7 8 5 mm				2 次減速機構	チェーン			
	全 高	1 1 1 0 mm					同上減速比		38/17	2.235
	シート高	7 5 0 mm				クラッチ形式		湿式多板		
	軸間距離	1 5 3 0 mm			変速機	形 式	常時噛合式前進6段			
	最低地上高	1 5 0 mm				操作方法	左足動リターン式			
	乾燥重量	2 0 3 Kg				変速比 1速	38/13	2.923		
	装備重量	2 2 1 Kg				" 2速	35/16	2.187		
	登坂能力(tanθ)	0.6 (θ=31°)				" 3速	32/18	1.777		
最小回転半径	2.77 m		" 4速	30/20		1.500				
制動停止距離	14m (50km/h)		" 5速	28/22	1.272					
			" 6速	26/24	1.125					
性能				フレーム形式		ダブルクレードル				
	原動機	原動機種類	4サイクル・水冷・DOHC・5バルブ		走行装置	キ ャ ス タ	28° 45'			
		気筒数配列	並列4気筒			ト レ ー ル	114 mm			
総排気量		749 cc		タイヤサイズ		前	110/90-16 59H			
内径×行程		68.0mm×51.6mm			後	140/90-15 70H				
圧縮比		11.2:1		制動装置	形 式	前	油圧式ダブルディスク			
最高出力		77ps (8500rpm)				後	油圧式シングルディスク			
最大トルク		7.1Kg・m (6000rpm)			ブレーキ胴径 又は ディスク有効径	前	235 mm			
機		始動方式	セル式		装懸置架	懸架方法	前	テレスコピック		
		潤滑方式	強制圧送ウェットサンプ				後	スイングアーム		
	ラジエター容量	0.65 l		緩衝装置	緩衝方法	前	コイルスプリング、エア併用			
	エンジンオイル容量	3.5 l				後	コイルスプリング			
	燃料装置	エレメント種類	不織布		灯火及照明	ホイールトラベル	前	140 mm		
	燃料タンク容量	13 l		後		97 mm				
キャブレタ型式	BDS34×4		ヘッドランプシールド種類	バルブ脱着式ハロゲンランプ						
電気装置	点火方式	トランジスタ		ヘッドランプ		12V 60W×55W				
	点火プラグ型式	DP8EA-9, DP7EA-9 X24EP-U9, X22EP-U9		マーカーランプ	12V 3.4W					
	バッテリー容量	12V14A (10Hr)		テールランプ	12V 5W×2					
	バッテリー型式	YB14L		ストップランプ	12V 21W×2					
				フラッシュャーランプ	12V 21W×4					
				装メ置タ	速度計、回転計、水温計					



ヤマハスポーツ「FZX750」